

# マナミさんとケンジさんの歯界探検

## 「歯医者の本音が聞きたい」

みんなの歯科ネットワーク TEAM T.S.T.

### 番外編 その3 「歯科医療は誰のもの？」

注

歯界探検はあくまでもフィクションです。

実在する個人、団体とは関係ありません。



ユウコ先生 銚子の市立病院が閉鎖されたけど、公立でも、病院の赤字は問題にされるのね。  
いつも同じ疑問が湧くのだけど、消防署や警察署については「赤字」と言わないわよね？もちろんどんな施設でも経費削減は命題なんでしょうけど。で、病院と消防・警察が違う論理って何なのかしら？  
どちらも同じ「命」を扱うものよね？



スグル先生 歴史的経緯かな。警察は国家そのものだし、消防は古くから自治として存在していたからね。  
小石川療養所なんてものあったようだけど、大多数は、個人の「くすし」や「歯大工」が勝手に営業していたんじゃないの。  
社会保障として動き出したのが、大正になってからで、確立したのが昭和30年代だろ。  
今では国民皆保険が当たり前かもしれないけど、歴史的にはすごい最近の話でさ、それまでは、「商売」で「医療」が為されるのが当たり前だったのさ。

ユウコ先生 警察、消防は、集団が相手で、医療は個人が相手ということもあるのかしら。

スグル先生 学校のようなものもあるからそうもいえないんじゃないかな。相手が集団か個人かというよりも、担い手が集団か個人かで歴史的な成り立ちが違うのかもしれないなあ。

医療は個人でもできるけど、社会保障としての医療は個人では無理だよ。世界的、歴史的に、国が社会保障として全ての医療の提供をすることは当たり前ではないよ。

日本の場合は、国が「国民皆保険制度」だといって、社会保障としての医療を提供しているけど、こういうのって、世界的に特殊とまではいわないけど、スタンダードでもないだろう。

ユウコ先生 そうかしら。私はやっぱり医療、福祉は、警察、消防と近いと思うわ。スウェーデン、フィンランドでは、医療職は社会のインフラとして公務員の一職種よ。

それらは社会的共通資本と考えられていて、警察も消防も教師も医者もそれぞれが黒字とか赤字とか関係なく同じように市民から尊敬されているそうよ。

スグル先生 北欧は、自立した市民が支える真の市民社会だからな。日本はまだそこまで成熟していないよ。



ユウコ先生 知っている人は少ない見たいけど、日本は人口当たりの公務員の数で欧米諸国に比べて少ないのよ。(注1) マスコミも公務員バッシングばかりしないで、望ましい社会のあり方をきちんと考えるべきよね。

スグル先生 公立の保育園が、公務員として職員の給料が払えないからという理由で、私立になるご時世だからなあ。

第一、現在の医療従事者全員に公務員並の給料を払うと「保険財政」は、あつという間に破綻しちゃうよ。民間に「委託」することで医療費を「低

く」抑えることに「成功」しているのが現状なんだよ。

**ユウコ先生** いつも疑問に思うんだけど、官から民へ移行すると短期的には公金負担は減るけど、果たしてトータルとして国民負担は減るのかしら？  
官製組織は確かに無駄があるかもしれないし、もっと「効率的」になれるだろうけど、「利益」は上げないでしょ。民間組織は確かに効率的に運営するでしょうけど、利益を上げる必要があるわ。トータルでどちらが消費者つまり、国民にとって負担が少なくなるのかしら？

**スグル先生** 中曽根さんの時は、三公社の民営化、国鉄からJR、電電公社からNTT、専売公社からJTにして一応、成功してるよね。  
小泉さんの時は、郵政公社から郵便事業株式会社、ゆうちょ銀行、かんぽ生命保険にしたわけだけど、国民の多くが選挙で賛成しただろ。

官 → 民

**ユウコ先生** でも、郵便事業については不便になったという意見の方が多いと思うわ。  
私の近辺では、以前の方が便利だったし、ものによっては料金が高くなったものもあるよ。今持っている週刊誌にも『「郵便局の民営化をやった国はほとんど失敗しているし、他国に民営化を求めるアメリカですら郵便事業は民営化していない。利潤を追求する企業行為と。内容証明などの公益性の維持という二つを調和させることは困難」「本来国がやるべき行為まで民間に丸投げすること自体、国家であることを放棄しているとしか思えない。』』と書いてあるわ。

**スグル先生** 「医療保険」だってそうだよな。アメリカでは民間が医療保険を運営しているのは知っているよね。当然、医療保険料全てが、医療費として支払われるわけではなくて、みんなが納める保険料から利益をだしているんだよ。保険料のうちどれくらいが実際の医療費給付に使われているかを、メディカル・ロス、医療損失というんだが、アメリカにおいては、民間保険におけるこのメディカル・ロスは、75とも85とも言われてるんだよ。(注2)  
つまり、その残りが利益となって、経営陣や株主の懐にはいたり、政治家への献金に化けてるんだ。



**ユウコ先生** 日本は国民皆保険で国が運営しているから、そこまではないんでしょうね。

スグル先生 PFI というのがあるのだけど（注3）、現行の保険制度下での歯科医療は、PFI のようなもので、公共サービスの提供に際して公共施設が必要な場合に、公共が直接施設を整備せずに民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービスの提供をゆだねているのさ。

ある全国紙が「医療は公共財」って書いたようだし、僕は、目の前で有名な医療経済学者である大学教授が、医療を「公共財！」って呼んだのを確かに聞いたことがあるよ。

「歯科医療も公共財」なんだよ。医療者が公務員かそれに準じた者とかいわなくても、私達は「公器」であるべきだって言わないといけないんじゃないかな。

ユウコ先生 もちろん私はそう考えて診療してきたつもりよ。そうでなければ、40点、再診料のみで義歯調整はできません!!!「医療」と「医療制度」のギャップを埋めるようにしていかないと。

スグル先生 まあ、一番の問題は当の歯科医に「歯科医療も公共財」という意識のない人が多いことかね。



注1

公務員数の国際比較に関する調査

内閣府経済社会総合研究所

<http://www.esri.go.jp/jp/archive/hou/hou030/hou021.html>

<http://www.esri.go.jp/jp/archive/hou/hou030/hou21-1.pdf>

注2

メディカル・ロスとは

<http://www.minnanoshika.net/wiki/index.php?%A5%E1%A5%C7%A5%A3%A5%AB%A5%EB%A1%A6%A5%ED%A5%B9%A4%C8%A4%CF>

注3

PFI (Private Finance Initiative)

ウィキペディア

<http://ja.wikipedia.org/wiki/PFI>

2008/10/22

みんなの歯科ネットワーク

TEAM T.S.T.